

第3章

計画の基本的な考え方

(めざす地域福祉の姿)

1 計画の基本理念

平成30（2018）年度に策定された『第2次南房総市総合計画』（2018年度～2027年度）では、『第1次南房総市総合計画』に引き続き、めざす将来像を「ひと・ゆめ・みらい 地域で創る魅力の郷 南房総」と定めています。さらに、保健・医療・福祉の分野の基本方針を「優しく安心して暮らせる南房総」とし、市民誰もが、生涯安心して生きがいを持って暮らせるまちづくりを推進しています。

また、「市民アンケート調査」や「意見交換会」では、地域住民同士の交流の機会やさまざまな活動を行っている団体同士の情報交換・交流を望む声が多く、他とのつながりが求められていることが分かりました。

これらを踏まえ、「地域共生社会の実現」に向け、本計画の基本理念を次のとおり定めました。

みんながつながり支え合う みんなにやさしいまちづくり

2 計画の基本目標

「基本理念」の内容を実現するための本計画の基本目標を、次の3つとし、取り組みの方向性を明らかにし、その着実な推進を図ります。

基本目標1 支え合い助け合い『人』がつながるまちづくり

人と人とのつながりを大切にし、お互いが支え合い、助け合いのできる地域づくりを進めます。できる人が、できることを、できるだけ行う、無理のない持続可能な体制づくりをめざします。

災害等の緊急時の要支援者を支援するため、市民による「自主防災組織」の整備や福祉関係機関との連携を図ります。

また、福祉教育を推進し、「地域福祉」の普及・啓発を図ることにより、住民参加の促進と担い手の確保・育成に取り組みます。

「総合計画」の定める「将来像」の、「ひと」に基づく目標です。

基本目標2 誰もが安心して『夢』を持って暮らせるまちづくり

人々のさまざまな特性をそれぞれの「個性」として受け入れ、誰もが地域の中で安心して暮らすことができる地域づくりをめざします。

子どもから高齢者まで一人ひとりが夢を持って、いつでも・いつまでも健康でいきいきと暮らせるよう、心身の健康づくりに取り組み、健康寿命の延伸に努めます。

また、次代を担う子どもたちを安心して産み育てることができるよう、地域全体で子育てを支える体制を整え、異世代交流を通じて、子育て世代にも高齢者世代にもやさしいまちづくりを進めます。

「総合計画」の定める「将来像」の、「ゆめ」に基づく目標です。

基本目標3 一人ひとりに寄り添い『未来』へつなげるまちづくり

福祉に関する「総合相談窓口（総合案内）」の設置を進め、「地域福祉」の情報をわかりやすく提供・発信し、誰もが必要なサービスや支援を受けられるように努めます。

生活困窮や虐待など困難な状態にある人をさまざまな方面から支え、地域で生活していける環境づくりに取り組みます。

「総合計画」の定める「将来像」の、「みらい」に基づく目標です。

3 計画の展開（取り組みの体系）

基本理念

みんながつながり支え合う みんなにやさしいまちづくり

【基本目標】

1 支え合い助け合い
『人』がつながる
まちづくり

2 誰もが安心して
『夢』を持って暮らせる
まちづくり

3 一人ひとりに寄り添い
『未来』へつなげる
まちづくり

【実現するためにめざすこと】

- 1 みんなで地域のつながりをつくる
- 2 地域のさまざまな分野の機関とつながり、活動する
- 3 地域交流の場をつくる
- 4 災害に備えた地域の連携体制を強化する
- 5 外出に困らない地域をつくる
- 6 福祉活動への意識を高め、担い手を増やす

- 1 最期まで自分らしく過ごせる地域をつくる
- 2 心身の健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばす
- 3 子育てしやすい地域をつくる

- 1 一人ひとりに寄り添う相談体制をつくる
- 2 困りごとを抱える人をみんなで支える
- 3 地域で生活するための環境を整える